

平成30年 7月13日

## 報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 櫻井 潤一郎 様

大田原市議会 第4班班長 小池利雄

大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 日 時 平成30年 6月29日（金） 午後 7時00分～ 8時30分
2. 会 場 大田原西地区公民館
3. 担当議員と役割  
【担当議員】
  - 小池 利雄（班長）
  - 小池 利雄（司会者）
  - 桜井潤一郎（総務常任委員会発表者）
  - 小池 利雄（民生 “ ”）
  - 小野寺尚武（建設産業 “ ”）
  - 印南 典子（文教 “ ”）
  - 前田雄一郎（文教常任委員会 “ ”）
4. 参加者 別紙受付表のとおり
  - ・市内 16名（男性13名、女性 3名）
  - ・市外 0名（男性 0名、女性 0名）

## 5. 意見交換会の内容

Q ふるさと納税は返礼を出しているが、お互い税金が少なくなるので、実際はどれくらいの損失を出しているのか？あんまり良いことではないと思う。静岡のどこかで、犬猫の殺処分をたいしてふるさと納税を集めたら集まったというテレビを見た。大田原も返礼品がない形でやれるようになるといい。

A 大田原でもお墓を掃除する、ということでふるさと納税をするような仕組みも始まった。高級な商品ではなく、ふるさとを支援したいという想いから、ということも増えている。執行部に伝える。

Q 今日発表していただいたことを一つにまとめていくといいのではないか。善意に対して、お金じゃなくて、地域通貨を渡す。ポイント制もいい。賃金はいくらだとか、ボランティアは無償という話があるが、円に換算すると生々しくて、善意に対しては違う気がする。私は野崎で民生委員をやっていて、弁当の配布をやっているが100円払ってくれる場合もある。地域通貨として払えばいいのでは。善意の対価をまわしていくのが良いのでは。

A 軽井沢で地域通貨を発行している。100円単位で。地域の商店で使える。お礼として渡す。地域通貨だったらもらう人も気兼ねなくもらえる。たいしたことない金額ではあるが。私も視察して良い取り組みだと思った。HPにも載っている。軽井沢は別荘地が多く、お年寄りになってから住むようになると大変。大田原でも取り組めればと思うので提言していく。

Q 初めて報告会に参加した。イメージと違っていた。議会が終わっての報告会だったので、本会議のことをもっと詳しく説明してくれると思っていた。実際は、各委員会の活動の報告の場だった。報告会のポスターでは、何をやるのか伝わらない気がする。この場がどういう場なのかの宣伝が足りない気がする。視察の報告の場も大切だと思うが、そういう場でないと思っている人もおおいので、検討してもらいたい。

A① 今回3回目の議会報告会だが、1回目は定例会の内容を伝えていたが、アンケートで難しいという声があり、2回目、3回目はこのような形にしてきた。今年で一回りするなので、みなさんのアンケートなどを参照しながら、今後のことを変えていこうと思う。

A② 今の意見はその通りだと思う。始まる前に、議員の間でもそのような話があった。私たちも意に反する報告会だと思っている。一周したので、次回から取り入れてやっていきたいと思う。

## 6. 議会報告会の所感等

### <参加者の感想>

- ①初めて参加した。各委員会の報告が、委員の名前が載っていたり載っていなかったり、バラバラなので、統一をしてもらった方が良い。もう少しわかりやすく書いて欲しい。
- ②各常任委員会は何にをするのか？目的は？
- ③報告会の内容を事前にお知らせして欲しい。
- ④視察の報告ではなく、定例会の報告をしてほしい。
- ⑤活発な意見を聞くことができた。地域の問題があることがわかり、参加してよかった。
- ⑥視察結果を大田原市にどのように活かしていくのかを詳しく知らせてほしい
- ⑥配布資料を統一して分かりやすくしてほしい。

### <まとめ>

第3回議会報告会は、各班、各委員会で工夫し、実施できました。  
参加者が減少傾向にあるが、参加者からの活発な意見が出された。  
アンケートを見ると、議員が参加をお願いし、来場した人が多いと思います。  
各議員が動員をかけて、参加者の増加を図り、理解者を増やしていきたい。